

## 6日 木曜

### テモテⅡ

3:10 しかしあなたは、私の教え、生き方、計画、信仰、寛容、愛、忍耐に、

3:11 また、アンティオキア、イコニオン、リステラで私に降りかかった迫害や苦難に、よくついて来てくれました。私はそのような迫害に耐えました。そして、主はそのすべてから私を救い出してくださいました。

3:12 キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。

3:13 悪い者たちや詐欺師たちは、だましたり、だまされたりして、ますます悪に落ちて行きます。

3:14 けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分がだれから学んだかを知っており、

3:15 また、自分が幼いころから聖書に親しんできたことも知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。

3:16 聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。

3:17 神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。

クリスチャンに限らず、真理や正義に生きようとする人は、この世では苦しいことがあります。人の形が罪ゆえに壊れてしまっているからです。この世の正義でさえ、そのために犠牲を払って勝ち取ろうとする人が大勢います。まして永遠の命のため、永遠の価値のために犠牲を払うのは当然といえば当然のことです。

とはいえ初代教会の時代には、「迫害」があり、クリスチャンたちは猛獣の餌食にされたりしたので



すが、それでも多くの人々が天国の希望のゆえに信仰を守り通したのです。私たちもときには厳しい選択に迫られることがあるでしょう。苦しみを逃れるために、または成功を手に入れるために信仰から離れるか、それとも「だましたり、だまされたりしながら、ますます悪に落ちて行く」ことをよしとしないで、信仰を守り続けるか…です。

日頃から小さなことでも主のみこころを選び取っているなら、間違いに落ちることはないでしょう。小さなことに忠実な人は大きなことにも忠実…とあるように。そのような神様に忠実な人は聖書を読み、また神のことばである聖書に忠実です。生活、人生の目的、教会の在り方などなど、聖書にしっかりと聞いて歩いて行きましょう

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

